



学校だより (22)

事務所 947-3111 ・ 授業日 291-1591

◇<http://www.hjschl.org>

◇e-mail info@hjschl.org

「綴(つづ)り方」から学んだこと

校長 福原 輝幸

「生活を綴ろう」を学校目標にしたのは、今から30年程前のことでした。

その時「綴り方を通した集団づくり」の研究をお願いしたら「綴り方に取り組むと、自然に学級・学年集団が出来て行きます」と講演(こうえん)されたことを、今でも思い出します。

毎日の生活から値打ちのあることを見つけ綴る。朝から晩まであったことをだらだらと綴るのではなく「あったことを、ありのままに、よく思い出して詳(くわ)しく綴っていく」そして子どもに返す。「作品を印刷し、学級・学年の中で声を出して読んで行く」ことを行う。

値打ちのあることを綴るとは、子どもに綴ってほしい文であり、子どもに綴らせたい文を言う。

ソフトボールをして面白かったとかサッカーをして楽しかっただけの文は、大抵(たいてい)は平凡な文であり、他の人にとっては「あっそー」で終わってしまう文となる。

毎日繰り返される生活の中で、いつもとはちょっとちがう出来事に気づき、その場面を詳しく綴る。「生活を綴る」とは、一日の生活が一日で終わることではない。

何を綴ろうかと一日を振り返る。次に綴ることを決めて詳しく綴って行く。綴る時になって、気にも留めていなかったことに改めて

気づくことがある。こうして綴り方は三度生きていることになる。

こうしたことの繰り返して、学級・学年の仲間の生活を知り、分かり合うことを重ねていく。そうすれば、自然とつながりができ、つながりが生まれてくる。

ところで、時間が経過したら、子どもは自然に文が綴れ、綴ることが好きになるということはありません。

何もしないでいたら、いつまでも文は綴れないし、好きにならないでしょう。

綴ることが好きになるためには、まず「事実即して、現実即して、詳しく綴る」次に「生活の現実をしっかりとらえて綴る」その中で「書き加え」や「書き直し」を行って行けば、綴ることが自然と好きになることでしょう。

<< 10月の行事 >>

- | | |
|---------|---------------------|
| 3日 | 後期始業式
学校文集取り組み開始 |
| 10日～11日 | 修学旅行(小6 オアフ島) |
| 17日 | 学級写真撮影 |
| 24日～25日 | 修学旅行(中3 ハワイ島) |
| 31日 | 避難訓練(ロックダウン) |

避難訓練(ロックダウン)

校舎内で起こりうる緊急時(不審者の侵入等)に安全に避難できるように、また危険から身を守るための心構えの訓練です。